

# 危機管理連絡会議

日時：平成 29 年 10 月 10 日（火）16:30～

場所：県庁 4 階 405 会議室

## 協議事項

- ・ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）のイヌからヒトへの感染事例について

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を発症した イヌからヒトへの感染事例について

国内で初めて、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を発症したイヌからヒトに感染し、発症した事例が、県内において確認されました。

「重症熱性血小板減少症候群」は、SFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染するとされております。今回、SFTSを発症したイヌからヒトに感染し、発症した事例が確認されましたので、県民に対して広く注意喚起をするものです。

※ これまでの状況（平成25年3月4日（四類感染症指定））

全国：303人の感染が確認（うち59人が死亡）（H29.9.27現在）  
（指定以前の8例を含む。）

本県：23人の感染が確認（うち7人が死亡）（H29.10.10現在）

### 【今回のSFTS患者の発生状況】

- 1 患者：県内に住む、40歳代の男性
- 2 経過：
  - ・ 6月初旬、飼い犬が体調不良となり、動物病院を受診、SFTS疑いにより、関係機関で検査を実施。（6月下旬にSFTSと診断）
  - ・ 6月中旬、飼い主が、体調不良により、医療機関を受診。（当時は、飼い主のSFTSを疑っておらず、検査は未実施）
  - ・ 8月に関係機関と動物病院との話し合いの中で、飼い主も6月時点で体調不良だったことが分かり、9月初旬、検査が可能な国立感染症研究所が、飼い主の検体を採取、検査を実施。
  - ・ 9月下旬、イヌからヒトへの感染が確認された。※現在は、飼い主、飼い犬とも回復している。

### 【国立感染症研究所において本患者がイヌからSFTSウイルスに感染したとする理由】

- ・ イヌがSFTSを発症したのが6月初旬で、当該患者はそのイヌを直接触れながら介護をした後にSFTSを発症した。
- ・ 当該患者はマダニに咬まれた痕跡は確認されなかった。
- ・ 発症後約2ヶ月後に採取された血液において、数ヶ月以内にSFTSウイルスに感染したことを示す抗体が検出された。

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」とは、

感染経路：主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染  
海外では、血液等の患者体液との接触により、人から人への感染も報告されている。

症 状：発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）を主徴とし、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状を伴う。  
血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素（AST、ALT、LDH）の上昇が認められる。  
致死率は10～30%程度

潜伏期間：6～14日

治療 予防：現在のところ有効な薬剤やワクチンはない。

マダニに咬まれないことが重要。

- 1 草むらや山など、マダニが生息する場所に入る際は、長袖・長ズボン、手袋、首にタオルを巻くなど肌の露出を避ける。
- 2 屋外活動後は入浴しマダニが付着していないか確認する。
- 3 マダニに咬まれた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置してもらう。
- 4 マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、直ちに医療機関を受診のこと。その際、ペットの健康状態についても、主治医に伝える。
- 5 ペットが体調不良の際は、直ちに動物病院を受診する。
- 6 飼育犬、猫については、ノミ・ダニの駆虫薬を定期的に投与する。
- 7 SFTSを含めた動物由来感染症の感染を防ぐために、ペットとの過剰なふれあいを控える。
- 8 野生動物は、どのような病原体を保有しているか分からないので、野生動物との接触は避けましょう。

# 1. マダニの生息場所



**マダニ**は、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

**マダニ**は、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



# 2. マダニから身を守る服装

**野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！**

**首**にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

**シャツの袖口**は軍手や手袋の中に入れてみましょう。

**シャツの裾**はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などでは**ズボンの裾**は長靴の中に入れてみましょう。

ハイキングなどで山林に入る場合は、**ズボンの裾**に靴下を被せましょう。

**半ズボンやサンダル履きは不適當です！**

A diagram illustrating clothing choices for tick protection. On the left, a woman in a tank top and shorts and a man in a t-shirt and shorts are shown with a large red 'X' over them, indicating that half-zip pants and sandals are inappropriate. On the right, a man is shown wearing a long-sleeved shirt, long pants, a hat, and gloves, representing correct protective clothing. Below this, a close-up shows a shirt cuff tucked into a glove. Another close-up shows a shirt hem tucked into a pair of gaiters. A final close-up shows a pant leg tucked into a long boot.

### 3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、  
家の中に持ち込まない  
ようにしましょう。



屋外活動後は、  
シャワーや入浴で、  
ダニが付いていないか  
チェックしましょう。



ガムテープ  
を使って服に  
付いたダニを  
取り除く方法  
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

### 4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に**忌避剤(虫よけ剤)**が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ（ダニ目ツツガムシ科）を忌避する用途で、衣服に塗布して使用する忌避剤（医薬品）が複数市販されています。

このような忌避剤を使用し、マダニに対して**一定の忌避効果が得られる**ことが確認されました。



**ディート(忌避剤)**の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。



# マダニが媒介する新しい感染症 SFTS(重症熱性血小板減少症候群)



タカサゴキララマダニ

**早期発見、早期治療が大切！！**

問1: SFTSってどんな病気？

2011年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気で、6日～2週間の潜伏期を経て、**発熱、消化器症状**(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)をひき起こします。重症化すれば、死亡することもあります。

問2: どのように感染するの？

**SFTSウイルスを保有しているマダニ**に刺咬されることにより感染します。マダニの中でも、病原体を保有しているマダニは極めてまれですが、発症すると重症化するので十分気をつけましょう。この病気を媒介するマダニは、家ダニなどとは違う種類で、10mmほどの野山に生息しているマダニです。

問3: どのように予防すればいいの？

マダニに刺咬されないことが重要です。草むらや山など、ダニが生息する場所に行く場合には、**長袖・長ズボン・長靴、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出をできるだけ少なく**することが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られます。ペットなどの身近な動物にも気をつけましょう。

**屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか注意深く全身チェック**しましょう。

問4: もしマダニに刺されたらどうしたらいいの？

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、口器の一部が皮内に残ってしまうことがあるので、**医療機関で処置**してもらってください。刺咬された後**1～2週間は、発熱、嘔気、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診**してください。

朝夕に体温を測り、裏面の体温表に記入し、熱が出たら直ぐに医療機関へ。

徳島県医学・感染症専門員 馬原 文彦先生監修

徳島県保健福祉部健康増進課感染症・疾病対策室

## ダニに刺されたら1週間くらい朝夕に熱を測りましょう

ダニに刺された		姓名				体重				kg			
月	日	第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日	
		朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
体温													
40													
39													
38													
37													
36													
35													

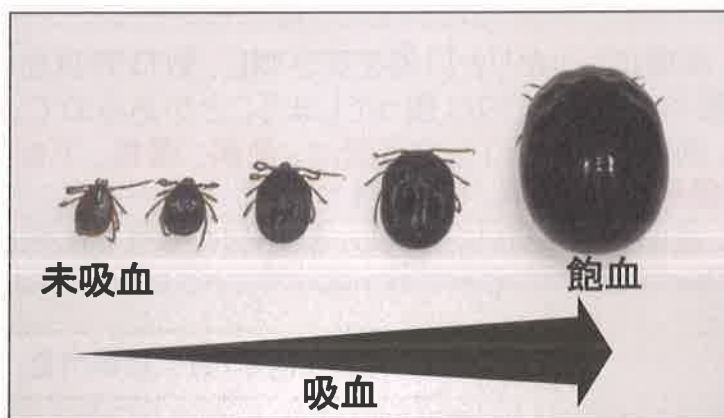
### ヒトを刺咬しているマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



吸血すると3~15ミリ位に膨れる

(写真提供: 馬原アカリ医学研究所)

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する相談窓口について

徳島県では、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について、次の相談窓口を設置しています。

### 【人の健康に関する相談窓口】

相談機関	相談時間	電話番号
徳島保健所	(平日8:30~17:15)	088-602-8907
吉野川保健所	(平日8:30~17:15)	0883-36-9019
阿南保健所	(平日8:30~17:15)	0884-28-9874
美波保健所	(平日8:30~17:15)	0884-74-7374
美馬保健所	(平日8:30~17:15)	0883-52-1018
三好保健所	(平日8:30~17:15)	0883-72-1123
健康増進課 感染症・疾病対策室	(平日8:30~18:15)	088-621-2228

### 【ペットに関する相談窓口】

相談機関	相談時間	電話番号
動物愛護管理センター	(8:30~17:15)	088-636-6122
阿南保健所	(平日8:30~17:15)	0884-28-9872
美波保健所	(平日8:30~17:15)	0884-74-7345
美馬保健所	(平日8:30~17:15)	0883-52-1011
三好保健所	(平日8:30~17:15)	0883-72-1121
安全衛生課 広域監視・食品乳肉担当	(平日8:30~18:15)	088-621-2229



## SFTSに関するQ&Aについて（動物）

### 要 点

- この度の事例は、非常に稀な事例であり、発症していないペットからヒトを含めペットもSFTSに感染することはない。
- SFTSに感染しても全てのペット動物が発症するものではない。

⇒ 発症していない（症状のない）ペットからは感染しないところであり過剰な心配をする必要はない。

- 日本では、西日本を中心に、犬を含めた動物がSFTSの抗体を保有しており、ペットを含めマダニ対策が重要
- ペットをSFTSから守るためにもマダニに対する忌避剤や駆除剤を定期的に投与するなど日頃からの対策が重要
- 動物との過度な接触は控えるとともに、ペットが体調不良となった場合には、早めに動物病院で受診することが重要
- ペットに関するSFTS相談窓口の設置

## SFTSに関するQ&A（動物）

### 〈 SFTS全般に関して 〉

問 SFTS（重症熱性血小板減少症候群）とはどのような病気ですか？

2011年に中国において新しい感染症として流行していることが報告された病気です。

病原体はSFTSウイルスで、主にマダニが媒介してヒトや動物に感染します。

問 どのくらいのマダニがSFTSウイルスを持っていますか？

季節や地域にもよりますが、0～数%といわれています。

### 〈 ペット・動物のSFTSに関して 〉

問 感染した動物から、SFTSウイルスに感染する危険性がありますか？

ヒトが動物から感染したと考えられる事例（猫1、犬1）は、いずれも動物がSFTSを発症している非常に稀な事例であり、感染していても発症していない犬や猫であれば、ヒトへ感染するリスクは低いと国立感染症研究所からも示されています。

問 動物からヒトへの感染はどのようにしておこるのですか？

SFTSウイルスに感染し、発症している動物の体液（唾液、血液、便、尿等）に直接接触した場合、ヒトに感染する可能性は否定できません。

SFTSウイルスだけでなく、動物からヒトへ感染する病気は多くありますので、衰弱した又は体調不良のペットの汚物処理等の世話をする際には、手袋を着用するようにしてください。

問 ペットが感染するとどのような症状が出るのですか？

これまで確認された事例では、

発熱（39℃以上）

白血球減少症（5000/mm<sup>3</sup>以下）

血小板減少症（10万/mm<sup>3</sup>以下）

食欲消失（自力でえさを食べられない）などですが、他の病気も考えられますので、ペットが体調不良の際には早めに動物病院を受診してください。

また、犬は多くが不顕性感染（感染しても症状がでない）といわれています。

問 ヒト以外の動物もマダニに咬まれてSFTSに感染するんですか？

国の調査によると、地域差はありますが、

犬では0～15%、シカで0～90%、イノシシで0～10%程度の抗体が検出されています。

このときの調査では、猫では抗体が検出されませんでした。その他、アライグマ、タヌキ、イタチ、ウサギ等野生動物でも抗体が検出されています。

問 徳島県内の動物も感染していますか？

これまでの国との合同調査等により、県下全域で、犬やシカ、イノシシから抗体を検出しています。

SFTSウイルスを持ったマダニが、県下全域に生息しているということですから、地域に関係なく、マダニに咬まれない対策が必要です。

犬 約5% (11/226検体)

猫 0% (0/68検体)

シカ 約10% (10/99検体)

イノシシ 約26% (54/210検体)

問 シカやイノシシを食べてもSFTSに感染しませんか？

これまで、肉や乳など動物由来食品を食べてヒトに感染したという事例はありません。

徳島県では、野生動物を食用にする場合に、動物由来感染症や食中毒を防ぐため、捕獲・処理・加工に携わる方に衛生講習会を開催するなどして、注意喚起を行っています。

SFTS以外にも感染症や食中毒を起こすウイルスや微生物がありますから、お肉を食べる場合は、中心部まで十分に加熱(75℃1分間以上又はこれと同等)することが重要です。

問 ペットにマダニが付いていたのですが、そのマダニを介してヒトがSFTSにかかることはありますか？

ペットに付いているマダニに触れたからといって感染することはありません。けれども、マダニに咬まれれば、その危険性はあります。マダニ類は犬や猫等、動物に対する感染症の病原体を持っている場合もありますので、ペットの健康を守るためにも、ペットのマダニは適切に駆除しましょう。

また、散歩後にはペットの体表のチェックを行い(目の細かい櫛をかけることも効果的です)、マダニが咬みついてしっかり食い込んでいる場合は、無理に取らず、獣医師に除去してもらうようにしましょう。

問 感染が疑われるペットはどうしたらよいですか？

ペットが体調不良の際は、速やかに動物病院を受診してください。

その際には、獣医師にペットの状況を詳しくお伝えください。

動物病院での検査の結果、疑わしいと判断されたペットは、血液などを採取して、国立感染症研究所で検査することとなっています。

問 県内で検査できる機関はありませんか？

ヒトの場合は、医療機関で診断基準等に基づき、疑わしいと判断した場合について、徳島県立保健製薬環境センターで検査してすることとしています。

動物の場合は、動物病院で疑わしいと判断された場合について、国立感染症研究所に検査を依頼することを国から指示されています。

問 ペットからの感染を防ぐためには、どうすればよいですか？

SFTS以外にも、動物からヒトへうつる感染症は多くあります。

このような「動物由来感染症」を予防するには、

- ・過剰なふれあいは控える

(口移しでえさを与える、布団で一緒に寝るなど)

- ・動物に触ったら、必ず手を洗う。
- ・ダニなどの外部寄生虫は薬などで適切に駆除する。
- ・ペットが体調不良の場合は、速やかに動物病院を受診する。

感染症が疑われ、衰弱したペットの汚物処理等の際は手袋を着用する。などの予防を心がけてください。

また、ヒトが体調不良になった場合は、早めに医療機関を受診し、受診の際には、ペットの飼育状況や健康状態、接触状況なども医師に伝えるようにしてください。

問 ペットのSFTS感染予防対策は？

- ・動物病院で処方してもらった、ダニの忌避剤や駆除剤を使って予防してください。
- ・シャンプーやブラッシングなどで清潔を保つことも大切です。
- ・ペットが体調を崩したり、ダニが寄生しているのを見つけたら速やかに動物病院を受診してください。

問 SFTSの他に、ペットの体液等から人へ感染する病気はありますか？

狂犬病、レプトスピラ症、オウム病、ブルセラ症 等があります。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya//kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya//kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index.html)

## 〈 SFTSの相談窓口について 〉

問 ペットのSFTSについて心配です。相談するところがありますか？

ペットが体調を崩している場合は、早めに動物病院を受診ください。

その他、SFTSに関するご相談については、次の機関で受け付けています。

### 【人の健康に関する相談窓口】

相談機関	相談時間	電話番号
徳島保健所	(平日8:30~17:15)	088-602-8907
吉野川保健所	(平日8:30~17:15)	0883-36-9019
阿南保健所	(平日8:30~17:15)	0884-28-9874
美波保健所	(平日8:30~17:15)	0884-74-7374
美馬保健所	(平日8:30~17:15)	0883-52-1018
三好保健所	(平日8:30~17:15)	0883-72-1123
健康増進課 感染症・疾病対策室	(平日8:30~18:15)	088-621-2228

### 【ペットに関する相談窓口】

相談機関	相談時間	電話番号
動物愛護管理センター	(8:30~17:15)	088-636-6122
阿南保健所	(平日8:30~17:15)	0884-28-9872
美波保健所	(平日8:30~17:15)	0884-74-7343
美馬保健所	(平日8:30~17:15)	0883-52-1011
三好保健所	(平日8:30~17:15)	0883-72-1121
安全衛生課 広域監視・食品乳肉担当	(平日8:30~18:15)	088-621-2229

※ SFTSなど動物由来感染症の詳しい情報は、厚生労働省ホームページをご覧ください。